

令和2年度事業報告

宮城県の経済状況については、復興需要の収束に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、宿泊業や飲食業などのサービス業を中心に県内経済の落ち込みが顕著であり、令和2年度の県内総生産はマイナス成長となることが懸念されている。

なかでも、裾野の広い観光産業が深刻な影響を受けており、安全安心の確保や新たなビジネスモデルの創出を図り、持続可能で選ばれる観光地となる取組を進めていく必要がある。

こうしたなかにおいて、当協会の主な事業としては、宮城県の経済の更なる成長や発展に向け、ソウル事務所及び大連事務所において、現地の経済に関する情報収集や分析を行うとともに、宮城県の観光、食、物産等のPRに取り組んだ。

1 公益事業1 海外事務所運営事業

(1) ソウル事務所の運営事業

イ 情報収集・発信

新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和2年4月から8月まで、現地職員は在宅勤務体制を取り、所長が現地へ赴任して事務所での業務を再開できたのは8月中旬からであったが、各種会議等の出席や官公庁、経済団体、企業への訪問など韓国経済の情報収集活動を行うとともに、河北新報に対する寄稿のほか、風評払拭に向けた情報発信、各種問合せ対応等を通じ、県内企業等や韓国国内への情報提供を行った。

① 情報収集

- | | |
|----------|-----------------------------------|
| a 会議への出席 | ソウルジャパンプラブ定例会議、韓日産業技術協力財団開催フォーラム等 |
| b 官公庁等訪問 | 在大韓民国日本国大使館、日本政府観光局（JNTO）ソウル事務所等 |
| c 経済団体訪問 | 日本貿易振興機構（JETRO）ソウル事務所、韓日経済協会等 |
| d 企業訪問等 | アジアナ航空ソウル支店、CBS、日本酒輸入商社各社、旅行会社各社等 |

② 情報発信

- | | |
|------------------------------|------------------|
| a 宮城県ソウル事務所ホームページへの活動報告掲載 | 全10回（日本語、韓国語各5回） |
| b 宮城県ソウル事務所Facebookへの観光情報等掲載 | 全96回 |
| c 河北新報「海外通信」への寄稿 | 全8回 |
| d 宮城県の観光情報等の提供 | 随時 |

ロ 県内企業等の海外活動支援

県内企業の事業活動等を支援するため、韓国企業に対する県内企業の情報提供やリモート商談の仲介等を実施したほか、風評払拭に向けた韓国国内での要望活動に対する支援等を行った。

① 韓国内での活動に対する支援

- | | |
|--|-------------------|
| a 県内事業者と韓国輸入事業者のWEB商談の仲介 | 計6件（うち成約2件、継続中2件） |
| b 釜山での飲食店関係者向け日本酒試飲会のブース出展 | （11月） |
| c 韓国内県内日本酒販売促進 新規開店協賛モデル事業 | （11月） |
| d ソウルでの県産日本酒飲み比べ「Miyagi petit SAKE FESTIVAL」開催 | （3月） |
| e 韓国への新規現地法人設立等に関する相談援助 | 計3回 |

② 原発事故風評払しょく

在韓大使館との共催による東日本大震災10年記念展示会での風評払しょく（3月）

③ その他

日本酒とこけしのコラボ「こけしPOP」による日本酒販売促進及びこけしPR、並びに県産日本酒の名刺型紹介カード「SAKE名刺」による県産日本酒販売促進を展開した。

ハ 宮城県のPR活動

宮城県の魅力を周知するため、韓国国内でのイベントへの参加や、マスコミ取材、ホームページ等を通じ本県経済や復興状況のPR活動を積極的に展開した。

① イベントへの参加

- a 韓・日・中地域間経済交流フォーラム2020での講演・ブース出展（10月）
- b KOTFA ソウル国際観光博覧会（11月）
- c 釜山での飲食店関係者向け日本酒試飲会のブース出展（11月：再掲）
- d 東日本大震災から10年 感謝と復興 式典及び展示会（3月）
- e ソウルでの県産日本酒飲み比べ「Miyagi petit SAKE FESTIVAL」開催（3月：再掲）

② 韓国国内マスコミ等への情報発信

- a 韓国観光業界ニュースサイト「TtlNews」のインタビュー取材・掲載（9月）
- b 韓国ケーブルテレビ局「Channel W」のインタビュー取材・掲載（12月）
- c 韓国国内国際交流団体「Asia society Korea」のずんだ餅等宮城の伝統料理の記事掲載（2月）

ニ 交流事業等への支援

韓国国内中小企業支援団体が実施する日本の企業の見学を含む研修事業において、主催団体の要請に基づき県内企業の紹介を行い、企業間交流の仲介を行った。

- a 韓日産業技術協力財団「ものづくりIOT研修」県内企業の工場見学，WEB講師仲介 2社延べ6回

(2) 大連事務所の運営事業

イ 情報収集・発信

中国国内で開催されたセミナーへの参加や各種展示会を視察したほか、官公庁その他関係機関への訪問等を通じて、中国市場等に関する情報収集活動を行った。また、中国版SNS「微博（ウェイボー）」を通じて広く情報を発信したほか、県内企業等に中国市場などに関する情報を提供した。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和2年4月から9月まで、現地職員は在宅勤務体制を取り、所長及び副所長が現地に赴任して事務所での業務を再開できたのは9月中旬からであった。そのため、年度前半は主にオンライン会議ツールや中国版SNS「微信（ウィチャット）」及び「微博（ウェイボー）」などを活用して業務を遂行した。年度後半は、大連市や瀋陽市、北京市など各地で散発的に新型コロナウイルス感染拡大による移動制限等が発生した時期もあったが、上海市、北京市等においても情報収集や情報提供を行った。

① 情報収集

a 会議等への出席

ジェトロ大連をはじめ経済団体や民間コンサルティング企業等が行う各種セミナー・研修会等

b 官公庁訪問等

大連市や吉林省等の中国東北部の各地方政府及び北京大使館、上海及び瀋陽の領事館等

c 経済団体訪問等

中国国際貿易促進委員会、JETRO大連

d 企業訪問等（オンラインによる会議を含む）

本県の大連進出企業、中国航空会社、中国旅行会社、中国企業及び現地日系企業（以下「現地企業」という。）並びに県内企業等

② 情報発信

a SNS（微博）を活用した宮城県情報の配信

b 民間情報を活用した中国国内動向の把握と本部等への提供

c 中国に進出する県内企業に対する各種法制度の情報や展示会開催情報などの提供

d 中国に進出する県内企業に対する新型コロナウイルス感染症に関連する情報提供

ロ 県内企業等の海外活動支援

県内企業等からの要請に応じた現地企業等の紹介や助言を行った

① 中国国内での活動に対する支援

博覧会等への企業出展支援（オンライン出展を含む）、民間団体の交流活動支援、企業資料等の中国語翻訳などを行った。

② 現地企業等への県内企業等の紹介

現地企業への県内企業紹介、県内企業への営業先紹介等を行った。

③ 大連展示商談会開催事業（9月25～27日）

宮城県及び岩手県と連携し、大連市人民政府等主催の「2020 中日（大連）博覧会・日本商品展覧会」に参加し、宮城県企業と中国企業等との商談会を開催した。（参加企業3社）

また、同日同会場開催で七十七銀行が主催行の一つとなっている「大連地方銀行合同ビジネス商談会」に参加する企業へのサポート等を行った。（参加企業計4社 オンライン2社、オフライン2社）

ハ 観光客誘致推進

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により停止している仙台－上海便及び仙台－大連－北京便の再開及び路線維持のため、北京市及び上海市に設置するサポートデスクと連携し、中国国内の旅行会社の運営状況に関する情報収集や中国で人気のある微博や微信などの SNS を活用した観光情報発信に努めた。

また、直行便の促進を図るため、大連市文化旅遊局と大連にある5県1市の自治体事務所が連携し、インバウンドとアウトバウンド双方に向けた情報発信のプラットフォームを構築した。

ニ 宮城県と吉林省の友好交流に関する支援活動

所長及び副所長の大連事務所の着任と事務所再開について説明するため、11月5日に吉林省人民政府外事弁公室を訪問した。

また、同室からの提案を受け、12月15日から17日まで(一社)自治体国際化協会北京事務所、大連の自治体事務所、吉林省琿春市(きしゅんし)を訪問し、大連に進出している宮城県内企業とともに琿春市政府表敬及び総合保税區等の視察を行った。

ホ 宮城県のPR活動

宮城県の魅力を周知するため、イベントへの参加等を通じた資料配布や、SNSの活用や旅行会社への訪問等による宮城県のPR活動を展開した。

① イベントへの参加

- a 2020中日(大連)博覧会・日本商品展覧会(大連市:9月25日~27日)
- b 2020第6回日本商品大連地区巡回展(大連市:10月10日~13日)
- c 中国青年企業家年会(北京市:12月20日)
- d 天皇誕生日レセプション(大連市:3月5日)
- e 天津伊勢丹「日本自治体産品展」(天津市:3月11日~24日)
- f 天皇誕生日レセプション(瀋陽市:3月31日)

② 宮城県のPR活動

- a 官公庁・旅行社等への訪問を通じた観光資料の配布のほか、県内企業や中国に在住する本県出身者に対する中国版SNSを活用した情報提供等
- b 県及び関係機関との連携による情報の随時配信

ヘ 交流事業等への支援

① 県事業への支援

資料の翻訳、イベント(WE Bミーティング)時における通訳、事業計画立案への支援

② その他

大連宮城県人会の活動支援や七十七銀行上海駐在員事務所等が実施する事業への支援

2 公益事業2 海外との経済交流支援事業

宮城県やジェトロ仙台貿易情報センター等と連携を図りながら、県内企業の国際ビジネス推進の取組を支援した。

(1) セミナー等開催事業

県内企業等の海外での経済活動を支援するとともに、宮城県経済の国際化を促進するため、宮城県、ジェトロ仙台貿易促進センターとの共催による実践グローバルビジネスセミナーを開催した。(10回)

(2) 海外での展示商談会開催

イ 宮城県・上海商談会開催事業 (11月3～6日)

宮城県と七十七銀行が共催者として、中国経済の中心である上海市で開催される「FBC 上海 2020 ものづくり商談会」に参加し、宮城県企業の中国企業等との商談会を支援した。(参加企業5社)

ロ 宮城県日台企業遠隔商談会 (日台企業商談会 10月7, 22, 26, 27日)

「台日中小企業連携推進プラットフォーム」等関係機関・団体の協力を得て、オンライン商談会を開催した。県内企業7社、台湾企業11社が参加し、12件の商談があった。

(3) 海外ビジネスに関する相談・助言

県内企業からの海外ビジネスに関する相談を受け、宮城県とともに助言を行った。

(4) その他

海外ビジネスに関する情報を、宮城県と連携して「みやぎGBメール」として、県内企業に配信した。

3 その他事業

行政機関・公的団体等からの業務受託

イ 韓国観光プロモーション業務, 韓国SIT旅行客誘致促進業務, 韓国SNS情報発信業務委託

宮城県からの受託事業として、韓国人観光客を誘致するため、宮城県と共同で韓国内のPRや、在県韓国人を対象としたモニターツアーによるAfterコロナを見据えた体制整備等の各種取組を行ったほか、観光展示会への出展等により宮城県の観光資源のPRや復興状況の正しい情報発信等を行った。

① 韓国観光プロモーション業務

- a 東日本大震災から10年 感謝と復興 式典及び展示会
- b 韓国国内マスコミ等への情報発信
- c 県名物料理 (牛タン笹かまずんだ餅セリ鍋) 食品サンプル制作
- d 大型カーテン式ポスター, スタッフユニフォーム製作

② 韓国SIT旅行客誘致促進業務

- a 在日韓国人インフルエンサーによる震災10年現地取材の招請 (3月)
- b キリスト教巡礼ツアーを取り扱う旅行会社の取材の招請 (2月)
- c 在県韓国人によるスキーモニターツアーの実施 (3月)

③ 韓国SNS情報発信業務委託

- a 宮城県ソウル事務所Facebookへの観光情報等掲載 計96回
- b Naver ブログ, DAUM ブログの出稿 計52回
- c NaverCafe ブログの出稿 計5回

ロ 広島県・韓国観光プロモーション業務

宮城県の観光事業との相乗効果を生み出すことを目的として、広島県の観光業務の一部を受託し、

広島県の観光PRや商品造成の働きかけ等を行った。

- a 韓国観光等事情調査及び翻訳業務（計302回）
- b 韓国人向け通常観光広報（KOTFA 旅行博、韓日おまつり等）
- c 広島県産日本酒の販売促進及び観光広報（釜山試飲会出展）

ハ 中国観光プロモーション業務

宮城県からの受託事業として、中国人観光客を誘致するため、各種商談会への参加や展示会等への出展を通じて宮城県の観光資源に関するPRや震災からの復興状況及び新型コロナウイルス感染症への対応状況に関する情報発信等を行った。

- ① 商談会参加・展示会出展（オンラインによる開催を含む。場所は相手方の所在地）
 - a 広州広之旅の訪日担当者を対象としたオンラインセミナー（広州市：6月16日）
 - b 2020 中日（大連）博覧会・日本商品展覧会（大連市：9月25日～27日）再掲
 - c 2020 第6回日本商品大連地区巡回展（大連市：10月10日～13日）再掲
 - d 外務省「地域の魅力海外発信支援事業」によるSNSライブ番組への対応（大連市：12月5日）
 - e 東北観光推進機構主催の大連市の旅行会社向けオンラインセミナー（大連市：1月19日）
 - f 東北観光推進機構主催の瀋陽市の旅行会社向けオンラインセミナー（瀋陽市：1月22日）
 - g 天皇誕生日レセプション（大連市：3月5日）再掲
 - h 北京新京報社によるオンラインでの取材対応（震災関連）（北京市：3月10日）
 - i 天津伊勢丹「日本自治体産品展」（天津市：3月11日～24日）再掲
 - j 一期一会主催オンラインセミナー（上海市：3月20日）
 - k 天皇誕生日レセプション（瀋陽市：3月31日）再掲

② 双方向性のある情報発信プラットフォームの構築

新型コロナウイルス感染終息後の仙台－大連便の速やかな再開と路線維持に向けた搭乗率の回復・向上を図るため、大連市文化旅遊局及び大連にある5県1市の自治体事務局が連携し、インバウンドとアウトバウンド双方に対する情報発信のプラットフォームを構築した。令和2年度は、当該プラットフォームを活用して、東日本大震災から10年に際しての知事のメッセージ、宮城復興の旅、宮城県の観光情報の3本の動画をTIKTOK、ビリビリ動画等の中国で活用されているSNSを活用して情報発信を行った。

ニ 宮城オルレ韓国プロモーション業務、宮城オルレ韓国・九州プロモーション業務

宮城県からの受託事業として、韓国国内等において、宮城オルレへの韓国人の誘致促進に繋げることを目的とし、韓国観光プロモーション業務とあわせPRや情報発信を行った。

① 宮城オルレの韓国内の広報

- a 済州オルレ協議会との連絡及び意見交換
- b 韓日中経済協会フォーラムでの講演「UNTACT ツーリズムとしての宮城オルレ」
- c その他、各種広報機会でのPR、ポスター制作、ノベルティ整備

② 宮城オルレを含む県内ツアーの造成及び誘客の促進

在県韓国人によるオルレモニターツアー（3月）